

ふれあい通信



杉崎 賢一 ●神奈川支部



妻の幼き頃の写真

福島県小野町という町名を知ったのは、今は亡き妻の病床での言葉でした。「この病気が治ったら小野町にまた行ってみたい。とっても良いところよ…」と話してくれました。

なんでも、外科医であった妻の父の最初の赴任先が公立小野町地方総合病院だったようで、幼少のころを小野町で過ごし、穏やかで楽しい日々の思い出がたくさんあったようです。

私自身は小野町出身ではありませんが、このような縁で2018年に「ふるさと小野町会」に入会させていただきました。その義父も既に他界し、昨年は妻の三回忌も無事済ませました。今、私の手元には病院の官舎前で撮ったであろう、半世紀以上も前の妻の幼き頃、仲良しだった姉妹の写真が残されています。

現在、私は神奈川県小田原市に住み、杉崎歯科クリニックを営んでいます。2人の息子たちも成人して独立。医療業務や農業の傍らスポーツ(ゴルフ)や武道(少林寺拳法、弓道)などに汗を流し、読書や好きな音楽に耳を傾けながら猫と暮らしています。

今回、このような「広報おのまち」に投稿させていただいたことは、故人へのはなむけともなり、大変うれしく感謝している次第です。

小野町の更なる発展と皆さんのご健勝を心よりお祈りします。

小野高生が花壇の整備

小野町ふるさと文化の館前の「ふくしまを花で飾ろう『市町村の花』の花壇プロジェクト」で整備した花壇に、小野高校産業技術系列2年生4人が春に向けた花の入れ替え作業を2月19日に行いました。

この花壇は、平成30年6月に南相馬市で開催の「第69回全国植樹祭」を記念して整備したものです。以前に植栽した「葉牡丹」に代わり、「パンジー」に入れ替えました。

今後も地域の皆さんに季節の花を楽しんでいただくよう、整備します。



整備された花壇と小野高校の生徒の皆さん

地域包括支援センターからのお知らせ

～最後まで住み慣れた地域で安心の生活～

町には介護保険で利用できる施設が2種類あります。要介護状態となり自宅での生活が困難な方が入所できます。

○特別養護老人ホーム

常時介護が必要で自宅での生活が困難な方が入所でき、日常生活上の支援や介護が受けられる施設です。原則として「要介護3」以上の方が入所できます。



○認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

認知症と診断された方が共同生活をする住宅で、食事、入浴、排泄などの日常生活上の支援や機能訓練などのサービスが受けられます。「要支援2」以上の方が入所できます。

☎小野町地域包括支援センター ☎72-2128